

ダイジェスト版

桑名市総合医療センター 基本構想・基本計画 概要(素案)

平成 24 年 6 月

○基本構想

- これまでの経緯
- 新病院基本構想・基本計画について
- 新病院の建設に向けて
- 新病院の名称、基本理念、基本方針
- 新病院の機能、特徴

○基本計画

- 全体計画
- 部門別計画
- 医療機器整備計画
- 医療情報システム整備計画
- 物品物流システム計画
- 業務委託計画
- 施設の概要
- 経営形態

1. 桑名市総合医療センターのめざすべき病院像、病床数及び建設地

- ・めざすべき病院像 ⇒ 二次医療が可能な急性期病院
- ・病床数 ⇒ 一般病床400床程度
- ・建設地 ⇒ 桑名東医療センターと周辺用地

2. 新病院の診療科

① 新たに標榜する診療科

血液腫瘍内科、腎臓内科、消化器肝臓内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ膠原病内科、消化器外科、呼吸器外科、**救急科**、乳腺外科、**放射線科（治療）**

② 継続する診療科

内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、精神科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、麻酔科

3. 新病院の施設、医療機器

① 病棟数	8～10 病棟
② 1 病棟の病床数	45 床程度
③ 手術室	8 室程度（クリーンルーム含）
④ 化学療法室	15 床程度
⑤ 重症ケアユニット	・ ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室）、CCU（冠状動脈疾患管理室）、SCU（脳卒中集中治療室）合わせて 16 床程度 ・ NICU（新生児の集中治療室）3 床程度
⑥ 救急病床	10 床程度
⑦ 有料個室割合	30%程度
⑧ 医療機器等	・ 放射線治療装置 ・ X 線 TV 装置 ・ CT 装置 ・ MRI 装置 ・ アンギオ装置

4. 新病院の機能

① がん	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外科手術や化学療法等の強化。 ・ 新たに放射線治療を開始し、がん治療を強化。 ・ 悪性の血液疾患や消化器系・呼吸器系疾患への対応を強化。 ・ 早期発見から治療に至るまで一貫した医療提供体制を構築。 ・ 三重県がん診療連携推進病院の認定取得をめざす。 ・ がんの種類、進行を考慮したリハビリテーションを強化。
② 脳卒中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脳神経外科、神経内科の連携を図り、救急医療や外科的手術への対応を継続。 ・ 地域連携パスを有効活用し、後方病院との連携をスムーズに実施。 ・ 急性期リハビリテーションの体制を充実させ、早期の社会復帰・在宅復帰を実現。回復期等を担う他施設との連携を充実。
③ 急性心筋梗塞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心臓血管外科と循環器内科の連携をスムーズに行える体制を整え、急性心筋梗塞をはじめとする心臓血管疾患の急性期医療への対応を継続。 ・ 急性期リハビリテーションの体制を充実させ、早期の社会復帰・在宅復帰を実現。回復期等を担う他施設との連携を充実。
④ 糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活習慣病治療の体制・整備を図る。 ・ 糖尿病の合併症に対応した専門的な治療を継続。
⑤ 救急医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二次救急患者を確実に受け入れる体制を目指す。 ・ 救急体制はER型を導入。
⑥ 災害医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時においても継続的に医療サービスを提供できる体制を整備。 ・ 感染症に考慮した施設を整備。
⑦ 周産期医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桑員地域における周産期医療に対するニーズに応えるため、産婦人科医の確保に努め、安心して周産期を過ごせる体制を整備。 ・ 重篤な症例にも応えることができるよう、NICUを設置するなど体制を強化。
⑧ 小児救急を含む小児医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医療機関との病診連携を強化し、紹介患者を中心とした外来診療を行う。 ・ 入院が必要な小児患者の受入体制を整備。

5. 魅力ある病院となるための特徴

① 患者を中心とした病院づくり

- ・患者との信頼関係の構築に努める。
- ・予約時間の徹底や呼び出し表示パネルなどによる待ち時間対策を図る。
- ・患者の立場になって対応ができるよう、接遇研修などを強化する。

② 教育研修の充実・人材育成

- ・臨床研修プログラムや指導体制を強化。研修医を含む若手医師にとって、さまざまな症例経験を積むことができる魅力ある病院づくり。
- ・学会等への参加促進のほか、専門的な人材の育成をバックアップ。
- ・地域看護師育成機関と連携を図り、実習生の積極的な受け入れや指導を行うことにより、看護師の育成と確保。

③ 動線などに配慮した施設設備の整備

- ・各部門の効率的な機能連携や、医療機器の効率的な運用が可能な施設配置。

④ 働きやすい職場環境を確保するための施設整備

- ・福利厚生に関する施設（休憩室、仮眠室、職員食堂等）の充実。
- ・24時間対応の院内保育所を整備するとともにフレキシブルな勤務体制を導入する。
- ・職員の通勤手段の確保のため、必要とする駐車場の確保に努める。

⑤ モチベーションに配慮した人事・評価制度

- ・職員のモチベーションが高まり、能力が最大限に活かされる人事制度。
- ・職務や職責に応じた業務実績が適切に反映されるよう、公平で透明性の高い評価制度。

6. 統合及び建設事業費

桑名市民病院統合および統合に伴う地域中核病院整備事業

総事業費 約 106 億円

(整備内容)

- ・ 病院の統合 約 23 億円
- ・ 施設の整備 約 68 億円
- ・ 医療機器の整備 約 13 億円
- ・ 電子カルテの導入 約 2 億円